

千葉商科大学国府台学会会則（抜粋）

- 第 2 条 本会は、会員の研究助成とその発表普及を目的とする。
- 第 3 条 本会は、千葉商科大学の専任教員をもって組織する。
- 第 4 条 本会は、次の事業を行なう。
1. 機関誌『千葉商大論叢』『千葉商大紀要』の発行。
 2. 各種研究会・講演会の開催。
 3. その他本会の目的を達成するために適当と認められる事業。
- 第 5 条 本会に次の役員をおく。
1. 会長 学長がこれにあたる。
 2. 運営委員長 運営委員の互選による。
 3. 運営委員若干名 会員総会で選出され任期は 1 年とし本会の事務を分担する。

前 号 目 次

巻頭の辞 (Appreciating Contributions of Professor Shigenori Asai) 島 田 晴 雄
Professor Shigenori Asai (Retired) Elliott, Warren Richard
浅井茂紀先生略歴および業績

論 説

- 2011年東北地方太平洋沖地震による津波の
千葉県旭市沿岸域における地下水利用への影響 杉 田 文 (1)
Water chemistry characteristics
of spring complexes near Madison, Wisconsin SUGITA, Fumi (17)
スプライン曲線とベジエ曲線の混合描画のユーザインタフェース… 箕 原 辰 夫 (35)
ノヴェールの作品におけるタブローと筋展開 譲 原 晶 子 (55)
Ex ante *a*-core with incentive constraints KAMISHIRO Yusuke (73)
MATSUBAE Taisuke
UTSUMI Yukihisa
- Implementing an Honor Code at Japanese Universities
to Improve Academic Honesty Ian E. Ellsworth (85)
エマソンと宗派 大 谷 多 摩 貴 (101)
建国直後における中国の対日政策 廉 舒 (111)
日本人の習合主義的宗教観の再考
—道教, 儒教, 仏教を日本の宗教的基層に浸透させたものは何か—若 林 明 彦 (119)
- 教育実習に関する効果的な事前・事後教育の検討
—教育実習生の自己評価に関して— 相 良 麻 里 (135)
相 良 陽 一 郎

研究ノート

日本の安全保障政策に対する『世界』の編集方針
—日米同盟をめぐる論説の検証・追補— 水 野 均 (149)

書 評

書評：『日治時期在「満洲」的台湾人』許雪姬訪問・編著
—口述調査から見た民族差別・対立環境下の
植民地出身者の教育・生活環境— 趙 軍 (163)

そ の 他

平成23年学外研究活動報告 (171)